

心に残る言葉

Vol.1 「人生は戦いだからな・・・」

徳洲会グループ
理事長
徳田 虎雄氏

今から20年以上前になりますが、徳洲会グループ 徳田虎雄理事長との出会いがあり、時々徳田理事長とお会いする様になりました。

ある時夜9時過ぎに徳洲会東京本部に伺った事がありました。

その時、徳田理事長は理事長室のソファーに疲れた様子で座っておられ、私が「先生、疲れませんか？」と話し掛けた時、返ってきた返事が、「うん、疲れるな。しかし、人生は戦いだからな。戦いが生きがいだからな・・・」という言葉でした。

私が30代後半、徳田理事長が50代前半頃の話です。

私は、その時、今の日本の50才過ぎの人の中で、この言葉がサマになる人が一体何人いるだろうか？自分も50才を過ぎてこの言葉が似合う様な生き様をしなければならぬと強烈に思った事を今でも鮮明に覚えています。

以来、自分がしんどいと思うような時にこの言葉と、あの時の徳田理事長と二人で言葉を交わした時の場面を思い浮かべながら、自分を鼓舞してきました。

あれから20年歳月が流れ、互いに医療界の中で医科と歯科という異なる分野ではありますが、それぞれ苦難の時も越えてきたのも事実です。

今日、徳洲会グループは、日本最大の医療グループに成長し、年間1,000万人を超える患者様の治療を行い、全国の救急車の30台に1台を受け入れる組織として社会に大きな貢献をしております。

一方、私共の徳真会グループも、歯科医療の分野でアジア最大の歯科グループとして、年間80万人を超える患者様の治療を行う組織となっております。

人が大きな志や目標を持って生きている以上苦勞や試練は避けて通れないのは、仕方のない事だと思います。

そして、その志や目標が高ければ高い程、それは常人の比ではないと思います。

またそうした局面で、自分を鼓舞し、困難から逃げない人だけが、その志を達成出来るのではないかと思います。

徳田理事長は、現在、全身の筋肉が失われるALSという難病と戦いながら、目だけでの意思伝達のみで巨大な組織の陣頭指揮を今でもとられておられます。

現在、徳田理事長がお元気な頃の様に直接いろいろと会話は出来なくなりましたが、

「人生は戦いだからな、戦いが生きがいだからな・・・」という言葉は、徳田理事長の生きざまそのものでもあり、且つ、私にとっても今日なお、自分自身を奮起させる至玉の言葉でもあります。

徳真会グループ
理事長 松村 博史

Words to Remember

徳洲会グループ
理事長 徳田 虎雄氏



Profile

1938年生まれ、徳之島出身。大阪大学医学部卒業後、1973年無一文から自らに生命保険をかけ、大阪府松原市に徳田病院を開設。「生命だけは平等だ」の哲学のもと、奄美群島を含め全国各地に病院をオープン。66病院を含む400余の医療福祉施設（職員数約27,000人）を擁す日本最大規模の民間医療グループを率いる。1990年、衆議院議員に初当選。第2次村山内閣では沖縄開発政務次官を務める。2002年4月、難病ALS（筋萎縮性側索硬化症）を発症するが、現在も世界200カ国での病院展開を視野に入れ、車イスから精力的にグループを統括牽引している。